



審査シート

ジェルコリフォームコンテスト2025

エントリー番号

4-1-0530-0

タイトル

狭小間口でも、光と風が巡る快適空間へ

応募部門：下記よりひとつを選んで○を入れてください

- 戸建て全面 マンション全面 リビングダイニング
 キッチン サニタリー 個室
 外まわり 玄関・ホール

基本情報

| | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--------------------------------|-----|----------------|--------------|-------|--|----------------|-----------|--|---|------------|
| 邸名 | 名古屋市A様邸 | | | 築年数 | 34 | 年 | 構造 | 重量鉄骨 | 造 | 5 | 階建 |
| 該当部分工事費 | 1,886 | | 万円 | 総工事費 | 2,586 | | 万円 | 建築確認申請の有無 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | | |
| 増築面積 | - | | m ² | 減築面積 | - | | m ² | 居住者 | 15歳未満 | 人 | 15歳以上65歳未満 |
| 改装面積 | 117 | | m ² | ※増築・減築の面積を除く | | | | 構成 | 65歳以上 | 人 | ペット |
| 建物の履歴（自宅、中古購入、空き家活用などの情報） | <input type="checkbox"/> 施主の居宅 | | | 34 | 年居住 | <input type="checkbox"/> 空き家または中古住宅の活用 | | | | | |
| 所在地 | 都道府県 | 愛知県 | 市町村 | 名古屋市 | | 完成年月日 | 2024年9月30日 | | | | |

施主様ご要望：リフォームの動機(140字程度で)

4階にお住まいのA様ご夫婦が、空き部屋だった3階フロア（かつてご両親の居住スペース）を新たな住まいにしたいとの思いをきっかけに、機能性やデザイン性、将来性を重視した愛犬との第二の人生にふさわしい快適な暮らしを実現するためのリフォームをご要望。

プラン決定のポイントと工夫(140字程度で)
設計・施工の工夫点、住宅価値を向上させた内容など

狭小間口で南北方向に長い建屋のほぼ中央に玄関がある特徴的な間取りを活かし、効率的かつ将来的な暮らしやすさを提案。

- 明るく風通しの良い空間と周遊動線
- 将来を見据えたバリアフリー化
- 毎日の掃除や片付けを楽にする収納の増設
- 既設内障子のリメイクによる再利用

施主様ご感想：満足度など(140字程度)

LDKや水廻りの周遊動線は、予想以上に生活の質を高めてくれました。希望した部屋干しスペースがサンルームで実現出来、明るく風通しもよくLDK・バックヤードへ周遊できてすごく便利。京都が好きな私に障子の小窓を設えたヌックも提案下さるなど、プラスワンの提案が嬉しかったです。

性能向上の特性（複数選択可）

- 劣化対策 耐震性 維持管理
 可変性 省エネ バリアフリー

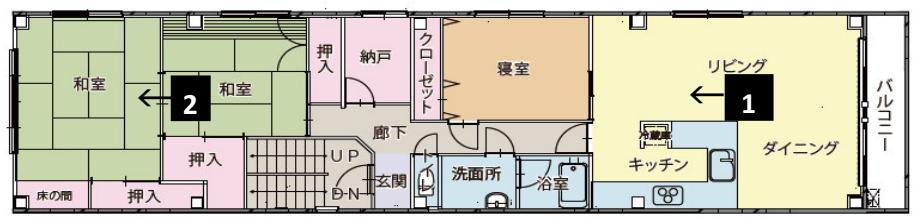
選択した性能向上の特性で特に配慮した点(50字程度で)

劣化対策として各水廻りの給水・給湯配管は架橋ポリエチレン管に全て入替えを行った。

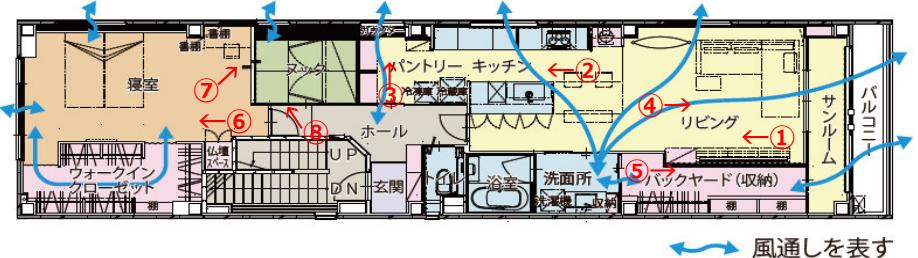
性能向上で、準拠・参考にした数値（性能表示の等級など）

（※わかれれば改修前の性能数値と改修後の性能数値を記入）

Before



After



▲リビングダイニング、キッチンまでを直線的にレイアウトすることで空間を最大限に広く活用。

落ち着いた色合いのフローリングは愛犬にも配慮した滑りにくい仕上げのものをチョイスしました。

新たに造作した内障子は、あえて白木とし、中骨の本数を減らして、すっきり感を演出しました。都心部のビル密集地で狭小間口でありながら、陽の光が柔らかく差し込むラグジュアリーな空間となりました。



▲存在感のあるシステムキッチンはA様ご夫婦がショールームで一目惚れした、「GRAFTEKT」を採用。ショールームで感じた雰囲気をそのままに、新しい間取りの中で再現するため、プランニングではかなり苦労しました。特徴的な2列型のレイアウトで、通路部分にも十分な広さを確保し、床の仕上げもフローリングではなく石張り調にするなど、使い勝手とデザイン性にこだわりました。

キッチンの奥は、冷蔵庫や冷凍庫も納まるパントリーへつながります。可動棚を設け、既設の窓を活かした明るい収納空間に仕上げました。



▲リビングの大きな障子の先には、サンルームを設けました。バルコニーに面した陽当たりの良い部屋干しスペースとして大活躍。リビングの夏・冬の断熱性も向上しています。



▲もともと和室だった主寝室は、既設の内障子をリメイクして活用。白木枠や桟をダークブラウンに仕上げ、天井を木目とし、温かみのある落ち着いた和洋折衷の空間に。隣接するWICにも周遊動線を取り入れ、採光・風通し・使い勝手も良いと好評いただきました。



▲バックヤード収納をリビングの壁掛けTVの背面に設けました。サンルームからリビングへと繋がる周遊動線により、明るく風通しの良いスペースになり、部屋干しから収納までの利便性を高めています。



▲ワークスペース横に設けた「ヌック」。畳敷きの小上がりとし、玄関ホールとの間に設けた障子（丸窓）が奥様のお気に入り。お昼寝や、お孫さんのお泊りにも活躍します。